

中遠地域の農業・林業の話題をお届けします！



きらり中遠 ホットニュース

令和3年3月17日 発行（第6号）

* 取組 * 中遠農業マネジメント講座第5回を実施しました

令和3年1月29日（金）、掛川グランドホテルにて中遠農業マネジメント講座の第5回講座を開催しました。

最終回となる今回は、受講生7名が出席し、講座を通じて受講生がそれぞれ立てた経営理念や経営目標を発表し、講師から講評いただきました。また、発表の後、農業振興部長から経営理念書の授与が行われました。当所では、今後も農業者の支援を行っていきます。



（生産振興課）

* 取組 * 「今やらねば!!セミナー」を開催しました



当所では、管内茶業者の経営支援の一環として、毎年茶業経営体支援プロジェクト「今やらねば!!セミナー」を開催しています。今年度第1回は令和2年11月26日（木）に、第2回は令和3年1月15日（金）に開催しました。

第1回は、テーマ1として「効率的な茶園管理に向けた基盤整備の推進」について、牧之原市の茶生産者の原間秀樹氏（農業経営士）、テーマ2として「多収栽培技術確立に向けた取組」について、県茶業研究センターの土屋主任研究員による講演を行いました。テーマ1では事業実施に向けた地域での調整や今後の経営について、テーマ2では多収栽培による茶園への影響や推奨品種についての講演がありました。

講演後の質疑応答では、基盤整備後の新植予定の品種や多収栽培に向けた施肥管理についてなど、数多くの質問がありました。

第2回は、テーマ1として「ドローンによる茶園診断技術」を当所の亀山技師が、テーマ2として「今後に向けた茶業経営戦略の方向性」をイワサキ経営の宮口氏が講演を行いました。テーマ1では病害虫や水ストレス調査に活用できるドローン等について、テーマ2では今後の茶業の目指す方向性についての講演がありました。

当所は今後も管内茶業者を支援していきます。

（企画経営課）

* 取組 * バイ・シズオカの一環として管内農産物の斡旋を行いました

当所は地産地消「バイ・シズオカ」の一環として、西部地域局と連携し、管内農産物の斡旋を行いました。磐田財務事務所、西部健康福祉センター、袋井土木事務所、農林技術研究所などに呼びかけ、第11弾では静岡県温室農業協同組合のアローマメロンを75個、スマートアグリカルチャー磐田のケールとパプリカのセットを113個、第12弾ではやぎバラ育種農園のバラを68セット、第13弾では柴田牧場のクッキーシューやプリン等の乳製品を計650個を販売することができました。

今後も管内生産者を応援、そして地産地消の取組を推進していきます。



(企画経営課)

* 取組 * 袋井市安間孝介氏が、ふじのくに未来をひらく農林漁業奨励賞を受賞しました



袋井市、安間製茶の安間孝介氏が、ふじのくに未来をひらく農林漁業奨励賞を受賞しました。

令和3年2月25日に、当所にて中遠農林事務所長からご本人へ褒状授与を行いました。

安間氏は県内でも生産量の少ない白葉茶（商品名「つきしろ」）の栽培や、白葉茶専用の瓦製急須の開発などさまざまな商品の研究、開発に取り組んでいます。

令和3年4月8日には、県庁で川勝知事に表敬訪問を行う予定です。

引き続き当所では管内茶業者を支援していきます。

(企画経営課)